

第 16 回 AAAP 大会参加報告書

東北大学大学院農学研究科 秦野ひかり

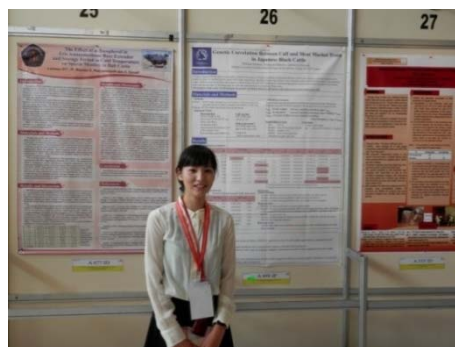
平成 26 年 11 月 10～14 日、インドネシア・ジョグジャカルタでの第 16 回 AAAP に参加し、「Genetic Correlation between the Two Market Traits in Japanese Black Cattle」という題目で発表させていただきました。そのご報告をさせていただきます。

1. 発表の概要

現在、黒毛和種牛の生産は、主に繁殖と肥育が別々に行われています。繁殖農家は繁殖雌牛を飼養し、子牛市場で高く売れるよう血統などを重視して交配し、子牛の飼養を行っている一方で、肥育農家は子牛市場で購入した牛を肥育牛として飼養を行っています。しかし、子牛市場出荷時の発育状態や子牛価格と、肥育後の枝肉成績の遺伝的関連がどの程度かに関する情報は少ないのが現状です。そこで本研究では、宮城県総合家畜市場と仙台中央食肉卸売市場の 2 つの市場成績を用いて解析を行い、子牛市場成績や枝肉成績に関連する形質の検討を行いました。その結果、両親の体型審査の得点と枝肉成績には関連性が無いことと、重要な経済形質である BMSNo. の母性遺伝効果が高いことが明らかとなりました。

2. 発表の状況

ポスターに対し、日本からの参加者だけでなく、様々な国の方から関心をもっといただくことが出来ました。黒毛和種牛に関心を持たれる方も多く、品種の特徴や飼養管理など、国内の学会とは少し異なる質問もされました。多くの方々から質問や指摘をしていただくことで、今まで自分では考えていなかったことにも気づくことが出来、大変勉強になりました。また、英語で相手に自分の考えを説明する



ことは私が想像していた以上に難しく、日本語であれば簡単に答えることが出来る質問であつても悪戦苦闘することが多く、英語力不足を痛感させられました。

3. 大会の感想

今回の学会で発表されていた研究は、日本ではあまり見かけないものも多く、非常に興味深い研究が多くありました。また、大会期間中には、外国の方々のフレンドリーさと優しさに助けられ、交流を楽しむことが出来ました。同時に、英語でのコミュニケーション力を上げるという課題もできました。

最後になりましたが、本大会の参加にあたりプレゼンテーションアワードを授与して下さった日本畜産学会と、本大会参加にあたり支えて下さった先生方に心より御礼申し上げます。